



執筆者の素顔 (タツノオトシゴの巻)

さて、予期はしているものの、いざ順番が回って来て困ってしまいます。出来ればなるべく写真を出さずに、お茶をにごす手もありそうですが・・・普段あまり真実を言わない事が多いので、半分位カミングアウトをしてみましょう。

素顔の写真

由佳さんのお手本を前回見て、「生い立ちから始めるのが無難かな？」と思います。まずは記憶を 57 年前に遡ります (タツノオトシゴ 2 歳ごろ) お祖父さんの腕に抱かれた記憶があります。縁側の軒裏に大きなスズメバチの巣があり、それが怖くて必死にしがみついているかと思いきや、興味深く観察していました。その頃から非常に好奇心の強い子どもでした。お祖父さんが亡くなり 3 年前に 50 回忌を母方の実家 (兵庫県朝光寺) で行いました。お祖父さんが亡くなった時は、火葬で茶毘に付されたのを小さいながらハッキリと記憶しています。小さい時期をこの寺で過ごしたものですから、自分の田舎は兵庫県とっています。保育所に通う道すがら、自然の中から学ぶ事が多くありました。夜は月明かりで歩き、真っ暗な中でも割と平気なのは、その頃の経験が影響しています。



写真は1歳のお誕生日1ヶ月前

田んぼの水を抜いてひどく叱られたり、カラスの卵を食べて中毒になったり・・・結構いたずらな子どもでした。

野原を走り回り、山や川で一人、好きな事をして遊ぶ癖がついてしまいました。団体生活になじめず、自然を観察する事で学ぶ習慣はこの頃からのものです。後に寺田寅彦や小林一雄の小説に影響を受ける原因となったのです。自然科学ベースに、後から文科系がついてきたような気がします (後の中途半端さは此処から始まります)

結構、記憶力の良い子どもで、そのまま順調に育っていればどうなったのでしょうか？

それより以前の記憶では、奈良の法隆寺に住んでいた頃の記憶が残っています。計算してみると2歳前の記憶です（^^）

父方のお祖父さんと一緒に住んでおり、ハスの花や亀と戯れていたのもその頃です。正月に門松を飾るのに、裏山まで登り探した場所にこの前行ってきました。様子は大分変わっていましたが、周りの雰囲気は変わっておらず、当時の懐かしい思い出の場所でした。家の横に小川が流れ、川エビを取って食べた食糧難の時代ですが、この頃が今から考えると幸せな時代だったように思えてきます。



写真は昭和23年11月

前の心理学シリーズでも、そのころの情景が何度か出てきました。落ち葉を拾い集め焚き火をしたり、庭の草むしりや水遣りの中に生活が感じられます。裏庭に井戸があり、つるべを使って水をくみ上げた筈なのですが記憶に残っていません。何か記憶から消える要素があったように思います（中に落ちてはいないはずです）スイカを冷やして食べたとき、井戸からロープで引き上げるのは覚えています。その他、鶏を料理したこともしっかりと記憶しています。（食べ物への執着ですね）

住まいが法隆寺の中にあり、遊び場には不自由しませんが、遊ぶ相手が居ません。父方のお祖父さんが、お話し相手になって遊んでくれました。絵本やおもちゃが少なかった時代、身の台所用品がおもちゃ代わりになり、大きな釜の蓋がお気に入りでした。（コロコロ転がし遊びました）



昭和27年4月 4歳頃

父親が建築技師で、法隆寺の五重塔修理の工事主任であったため、休みの日に現場に家族を連れて登った写真がありました。

父親は、写真を趣味と仕事に活かしていたので、事務所で現像する時一緒に連れて行ってくれました。フィルムから印画紙へ焼付け、赤いランプの中で写真が浮かびあがってくる様子を、子ども心にワクワクしながら見ていました（不思議な体験です）この写真、父親が39歳の誕生日でした。



昭和26年8月25日

私の現在58歳と比べると、う~ん!?? 我が家には娘が2人いますが、親子との写真があまり残っていません。（反省!）懐かしい写真、お付き合い下さい。

父親の転勤がきっかけで、6歳のときに東京の下町（赤羽）で小学校に上がりました。言葉は関西弁丸出しで、身体も小さかったためよく苛められました。授業中は先生が居るのでましですが休み時間は苦痛だったので、給食の厨房の裏にある煙突の傍に隠れていました。外壁が暖かく、静かな自分だけの隠れ家です。この頃からイジメは存在していたのです（心理学の実践を学んだきっかけでしょうね）

昭和29年ごろだと思いますが、台風で下町が床上浸水になったこともあり、荒川区から杉並区に引っ越しました。小学校の2年です。またまた関西弁で苛められ、子ども達の遊びにもなじめず、児童文庫の本を読み漁りました。その結果、身体がひ弱で本ばかり読んでいるこましゃくれた子どもが出来上がります。小学校が火事で焼け、しばらく休校になった事があります。登校しなくてよい事が全く苦痛ではありません。臨時に仮設の校舎が作られ、新設の小学校が出来たのをきっかけに校区変更がありました。クラスの変更がとても苦痛でした。一寸した病気でもなるべく長く休み、学校へ行く時間を少なくしていました（親がそこまで気付いていたかどうかは分かりませんが・・・）

中学校になり、今度はやっとならぶクラスになじめる環境が整いました。友達も出来、勉強にも意欲が湧いてきます。しかし病弱な体質は改善されず、修学旅行へいけなかったのが今でも残念な出来事です。試験の時は無理してでも出席し、成績は欠席が多かった割には常に上位でした。数学の試験の解答を万年筆で書いたり、時間が余ると裏に漫画を描いたり、いたずら好きはその頃から顕著になっています。

当時の大人向けの科学雑誌を読み漁り、宇宙の構造に興味を持ったり、DNA やリボ核酸の質問で先生を困らせたりしました。相対性理論を基に、まじめにタイムマシンについて勉強したり、透明人間の可能性を研究したり・・・etc

芥川龍之介の全集や、与謝野晶子の源氏物語を読破したのもその頃です。（普通の子どもより、チョッとませていたのでしょう）歴史小説や宗教関連の本まで、幅広く読んでいます。日本以外では、ロシア文学やフランス文学が好きで、大きくなったら小説の中に出てくるヨーロッパ各地を旅行するのが夢でした。

これまで誰に似ているって言われたか？

小学校の頃のあだ名が、目が大きくて「どんぐり」です。
 中学校では苗字が珍しかったので、そのままあだ名になっていました（^^；
 後で分かったのですが、この頃女生徒の間では結構もてていたようです。
 目が大きくかわいい顔をしていましたので、「アランドロン」に似ているなんて言われ、卒業のメッセージでは、クラスの一番の美人からお褒めの言葉を頂いたりしています。証拠を探してるのですが、あれは夢か幻か？

当時は正義感が強く、身体の大きな暴れん坊達に歯向かったりしていました。

前歯の一本が差し歯なのは、そのときの名残です（これは証拠がハッキリ残ります）
 身体が小さくても、強いものに勝てる方法を色々と学びました。この辺りから、体育系に目覚めたようで器械体操や水泳、その他色々な競技種目にチャレンジしています。

中学～高校の写真が見当たらなかったのが20代初めの、うさおさんと知り合った頃の写真を載せておきます。

（今の自分とは思えない夢の彼方です）



アランドロン風に？

高校の受験で希望校（私学や国立）に行けず、ごく普通の高校へ進学しました。入ったときは全校で10番以内でしたが、卒業時には後から数えた方が早く、受験勉強には全く興味がありませんでした（学校の方針は受験対策一本やりでしたので）
 授業が全く面白く感じられず、クラブ活動に専念したのがこの頃です。学校が終わってからも映画館に行ったり、鉄道研究や写真に没頭していました。自分にとって「高校生活とは何だったのだろうか？」と未だに疑問が残ります。振り返ってみるとその頃、「学校の先生と坊主にはなるまい！」と硬く心に誓ったものです（^^；
 （今では、福祉の実践と講師稼業で生活しています）

これまで何(誰)になりたかったか？

実は、この質問が一番難しい・・・

未だに何になりたいのか、何をやりたいのかが見えてきません。

世の中を変革させたい気持ちがあっても、政治家になろうとは思いません。

大学受験のとき、国立文科系クラスにいたのに3年生から理科系クラスに変更を申入れしました。校長先生に呼ばれ、成績表を前に「この化学の成績では無理だろう！」と言われました。必須科目の単位が取れなければ無条件で失格でした。

それで後期の試験で何とかクリアーし、変更を認めてもらうことが出来ました。

公立高校なのに、男子クラスと女子クラスに別れ、予備校みたいに文科系と理科系に分けた受験対策の授業でした。唯一、同じ理系クラスに女子が8名いた記憶があります。何故、文科系から理科系に変えたかという、理科系をベースに勉強し、後から文科系に変更は可能だと考えたからです。そういう意味で、漠然と建築関係を受験しています。夏には、受験に向けて補講がありました。普段の勉強を補う意味で、不得意科目を申し込みましたが、「補講を受ける事の出来る人は、成績の良い順番だから！」といわれ、またまた不信感に陥っていきます。(高校時代の記憶が少ないわけです)

今でも漠然と「人の迷惑にならず、人のためになる仕事がしたい」と思っています。

高校時代にクラブ活動をしたことで、身体に自信がつけました。

いつの間にか、病弱な中学時代とは違う生活を送っています。3年間無遅刻、無欠席で表彰されたのが一つの思い出です。勉強以外に幅広く経験できたこともあり、何が人生に役立つかわからないものです。鉄道模型と写真、音楽や映画鑑賞などが主な日課です。予想通りの試験結果となり、一年間予備校に通いました。(挫折も人生の肥やしです)

それと、特定の女性を意識し、ハッキリと恋愛感情を持ったのもこの時期でしょうか？

在学中に彼女と付き合い、彼女が高校を卒業と同時に関西に引越して行った事が、自分の人生に大きな影響を与えていた事を感じます。

長い独身生活が続き、もう潮時かと観念した結果、結婚できました。



長女1歳の誕生日

もう一人の私

人間色々な側面を持っていますが、私の場合はそれが極端です。
 家のものに言わせると、三重か四重人格だそうです。(褒め言葉ではなさそうです)
 友人が付けてくれたあだ名で気に入っているのがあります『狂ったコンピュータ?』
 「冷静沈着そうだけど、どこか狂っているみたい!」という解説が気に入っています。
 そう、私は『根っからのアナログ派』なのです。

それと、最近一番気持ちが晴れるのは、料理を作っている時だと気が付きました。食べるのも好きですが、食材にこだわり美味しいものは自分で手に入れる主義! 新鮮な野菜や取れたての魚に勝るものはありません。自己流ですが、冷凍食品を食べる位なら自分で料理した方がまし。でも最近、家で料理をさせてくれません。仕方がないので、友達の家を外泊したり旅行に行ったときに、楽しむことができます。



友人宅で料理長?

水族館でも、タツノオトシゴは生餌しか食べないそうです。(扱い難い!)

公開質問コーナー

心理学に興味を持ったきっかけは何ですか?

学生時代はまるで興味がありませんでした。大学で社会心理学を受講していますが、あまり記憶に残っていません。会社を辞めてから通った社会人研修施設の心理学の講師がとても面白く、それから改めて勉強しています。それと、子どもの頃両親に連れられて見に行った洋画作品や、自分で見に行きだした作品などの影響を受けているのに気が付きました。(『ティファニーで朝食を』や『アラビアのロレンス』などの心理描写)

ユングとフロイト、どちらかの弟子になれるなら...

人間的には好きでない部分が多い、S.フロイトを師匠に選びます。学ぶには、師匠の好き嫌いに関係なく、その人から学べる内容が多い方が得ですから(子供の頃からその辺は見抜いていました)でも、お友達にするとすれば、間違いなく C.G.ユングです(^^)



最も好きな心理学の系統と、心理学者は誰ですか？

特に意識はしていませんが、S.フロイトの流れよりC.G.ユングの方が好きですネ！最近では児童心理学に興味を持ち、少し体系立てて勉強をしようかなと思っています。ブルーナーやピアジェの関連を読んでみようと思っています。河合隼雄さんの講演を聞いたことがあります。なるほどと思わせる事が多かった・・・日本の民話や、文化を理解するには面白い切り口がありそうです。古いビデオでC.ロジャースの面談記録を見ましたが、当時としては画期的なスタイルでも、最近では当たり前の世界になってるのですね^^;



精神分析を受けたことはありますか？

いつも家族に分析されているような・・・
どうも、普通の人間とは思われていないようです。理由は、私のしている仕事が全く理解されておらず、遊んでいるように見られています。

昨年後半体調（精神面）を崩し、心療内科の治療？を受けました^^;
ドクターの質問を先読みし変な答えを言うと、「まだ、聞いていません！」と言われてしまいました。あまり知識に頼りすぎてもいけません。

夢を解釈して、現実で夢の内容を活用させた事はありますか？

あまり記憶にありませんネ！
夢枕でお告げでもあれば、こんなに迷っている筈はありません（キッパリ！）
旅行中に触発され、帰国後あらたな取り組みを始めることはあります。
普段、抑圧されているものを取り除くと、アイデアが湧いてくるのですね。
近くを歩き回るのも、普段の日常生活と違う面に気が付き、面白いものです。
私の写真は、そのような場で気付いたものを写し撮ることが多いようです。

では、最後の宿題・・・!

次の登場人物を指名しなければいけません。残り少ない人の中から、接点の非常に少ないと思われる「健さん」をお願いします。テレカコレクションをみても相当幅広いジャンルをお持ちのようです。是非、下記の質問にお答えください。

- ・旅行をするなら、何処の国に何を見に行きたいですか？
- ・テレカ以外にも何か収集されていますか？
- ・学生時代、嫌いな科目は何でした？（出来ればその理由も教えてください）
- ・警察に捕まったか、捕まりそうになったことはありますか？
- ・好きなタイプの女性はどんなイメージの人ですか？

以上、よろしくお願いいたしま～す ^^;